



平成 18 年 12 月 25 日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 10 番 1 号
株式会社フォーサイド・ドット・コム
代表取締役 安嶋 幸直
(JASDAQ・コード: 2330)
問い合わせ 常務取締役経営管理本部長兼 CFO 川崎雅嗣
T E L 03-5339-5820 (IR 問合せ窓口)

子会社の株式譲渡及び特別損失発生に関するお知らせ

当社は平成 18 年 12 月 25 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社キャスコの株式譲渡（異動）に関し、下記のとおり決議致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 株式譲渡の理由

当社はモバイル金融分野において早期の事業立ち上げを行うために、与信・回収ノウハウのある株式会社キャスコ（以下、キャスコ）の株式を平成 17 年 10 月に取得し、子会社化致しました。

キャスコは当社グループの金融事業の中核として調達コストの削減、当社グループのブランド波及による営業強化、事業者ローン事業などの拡大により、当社グループの業績に貢献してまいりました。

しかしながら、最近の消費者金融会社における動向として、日本公認会計士協会が平成 18 年 10 月 13 日付けで公表した「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」を踏まえた過大な利息返還損失引当金計上の必要性や、営業貸付金の調達による多額の負債を連結し、バランスシートが肥大化しているといった現状があります。また、将来的にも「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」による規制金利の引下げや、「貸金業の規制等に関する法律」の改正等、業績に与える影響は計り知れない現状があります。

これらの状況を鑑み、今後、当社の主力とするコンテンツ事業への経営資源の集中による競争力の強化を図ることと、有利子負債を削減し財務体質を改善する目的から、キャスコの株式を Galaxy Resources Group Inc. へ譲渡することに致しました。

2. 異動する子会社の概要

(1)	商	号	株式会社キャスコ
(2)	代	表	代表取締役社長 安嶋 幸直
(3)	本	店	大阪府大阪市中央区淡路町 2 丁目 4 番 1 号
(4)	設	立	昭和 37 年 8 月 6 日
(5)	主	な	消費者金融業
(6)	事	業	12 月 31 日
(7)	従	業	315 名（平成 18 年 3 月 31 日現在）

- (8) 主 な 事 業 所 本社
 (9) 資 本 金 の 額 1,000 百万円
 (10) 発 行 済 株 式 総 数 9,150,000 株
 (11) 大株主構成および所有割合 株式会社フォーサイド・ドット・コム (74.60%)
 (12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 18 年 3 月期	平成 17 年 3 月期
営 業 収 益	14,824 百万円	13,489 百万円
営 業 利 益	4,469 百万円	2,225 百万円
経 常 利 益	3,143 百万円	2,284 百万円
当 期 利 益	1,784 百万円	884 百万円
総 資 産	63,902 百万円	57,972 百万円
純 資 産	17,356 百万円	15,770 百万円
資 本 金 の 額	1,000 百万円	1,000 百万円
1 株 当 たり 配 当 金	50 円	20 円

3. 譲渡先の概要

- (1) 商 号 Galaxy Resources Group Inc.
 (2) 代 表 者 エヤル・アグモニ
 (3) 本 店 所 在 地 3rd Floor, Omar Hodge Building,
 Wickhams Cay 1, P.O.Box 362,
 Road Town, Tortola, British Virgin Islands
 (4) 主 な 事 業 内 容 日本の金融分野の上場・未上場会社への投資事業
 (5) 当 社 と の 関 係 資本関係、人的関係及び取引関係はございません

4. 譲渡株式数、譲渡価格および譲渡後の所有株式の状況

- (1) 譲 渡 前 の 所 有 株 式 数 6,826,000 株 (所有割合 74.6%)
 (2) 譲 渡 株 式 数 6,131,000 株 (譲渡価格 100 百万円)
 (3) 譲 渡 後 の 所 有 株 式 数 695,000 株 (所有割合 7.6%)

5. 日程

- (1) 取 締 役 会 決 議 平成 18 年 12 月 25 日
 (2) 株 式 譲 渡 契 約 書 締 結 日 平成 18 年 12 月 25 日

6. 特別損失の発生及び業績に与える影響

今回の株式譲渡に伴い約 31 億円の関係会社株式売却損が発生致しますが、平成 18 年 12 月期通期 (14 ヶ月) の業績に与える影響につきましては、明らかに次第開示させていただきます。なお、今回の株式譲渡により、有利子負債の圧縮による財務体質の強化が図れることから、中長期的に業績向上へ寄与するものと見込んでおります。また、当社とキャスコとは今後とも良好な関係を継続し、モバイル金融事業につきまして引続き検討してまいります。

以 上